



報道機関 各位

令和5年11月16日  
国立大学法人北海道国立大学機構

## Zekkei シンポジウム 2023 のご案内

国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター（帯広畜産大学の「Agriculture（農学）」、小樽商科大学の「Commerce（商学）」、北見工業大学の「Engineering（工学）」から、略称ACE（エース）と設定）では、商農工融合による三大学連携プロジェクトの一つである観光をテーマに実施している「Zekkei プロジェクト」を今後加速化するために、企業等の積極的な参画を目的に下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

ぜひ、ご取材くださいますようお願いいたします。

### 記

#### 1. 目 的:

北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター（通称：ACE）では、未来の北海道を共創するために、三大学の有する研究成果、人的資源等を活用した商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに三大学の教育研究活動の活性化を図っています。

本シンポジウムでは商農工融合による三大学連携プロジェクトの一つである観光をテーマに実施している「Zekkei プロジェクト」を今後加速化するために、企業等の積極的な参画を目的に開催いたします。Zekkei に係る研究成果について広く地域や企業にPRするとともに、これら機関との強固な連携により大型の外部資金獲得、さらには入学対象者、進路検討者へのアピールとなることを目指します。

シンポジウムの前には、昨年まで継続してきた WS 形式により、メンバーである先生方の研究報告会を行い、教員間のシナジー効果を生みだせるよう交流を深めます。

2. 日 程： 2023 年 11 月 28 日（火）13:30 ～ 17:15



3. プログラム：別紙チラシのとおり
4. 会 場：小樽商科大学札幌サテライト  
（札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 3階）  
※なお、オンラインによる同時配信を実施
5. 主 催 等：主催 国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター  
後援 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）  
文部科学省補助事業「地球環境データ統合・解析プラットフォーム  
事業（DIAS 事業）」

取材を希望される場合は、11月27日(月)までに本件担当までご連絡をお願いいたします。

**【本件担当】**

北海道国立大学機構大学連携室研究推進係

〒090-0013 北見市柏陽町 603-2

Email: renkei02@office.nuc-hokkaido.ac.jp

Tel: 0157-26-4190（松沼）

# Zekkeiの未来を 地域の力に!

## ジュエリーアイス予測最前線と 南極観測隊員からの報告

北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンターで実施している商農工融合による三大学（小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学）連携プロジェクト「Zekkeiプロジェクト」の取り組みについて、広く地域や企業に知っていただき、皆さまとの連携をめざします。



動物注意

令和5年

日時 **11月28日(火)**  
15:30~17:15

場所 **小樽商科大学札幌サテライト**  
札幌市中央区北5条西5丁目7番地sapporo55ビル3階

当日はオンラインでも配信いたします。オンラインでの参加をご希望の方も申し込みフォームから登録ください。

定員  
**50名**  
[参加無料]

申込

右記2次元バーコード  
もしくは下記URLより  
お申し込み下さい。

<https://forms.gle/tS2KcfCiwi3BdzXd9>



**締め切り 11月26日(日)**

【お問い合わせ】

北見工業大学社会連携推進センター 三枝昌弘  
E-mail: a-saegusa@mail.kitami-it.ac.jp



[講演]

### 1 ジュエリーアイスの 現象解明とホームページ での出現予測の公開

吉川 泰弘 (北見工業大学地域未来デザイン工学科・准教授)

北海道の広大な美しい自然に憧れて、1996年に北見工業大学に入学。北海道開発局、寒地土木研究所を経て、2012年から北見工業大学の教員として従事。寒冷地河川における治水・利水・環境・観光に関する研究に取り組み、2017年よりジュエリーアイスに関する研究に取り組んでいる。



[講演]

### 2 極地の観測と絶景

館山 一孝 (北見工業大学地球環境工学科・准教授、第48次、第64次南極地域観測隊夏隊員)

流水が来るオホーツク海沿岸の雄武町で生まれ、オホーツク流水研究所(現オホーツクガリンコタワー)、北海道大学包温科学研究所附属流水研究施設を経て、2011年から現職にて衛星リモートセンシング技術開発のための現場観測やセンサー開発に従事。現在は流水の霧気様など絶景発生予測に関する研究に取り組んでいる。



### 3 パネルディスカッション 「環境データ駆動・ 発見型観光」への挑戦

[ファシリテーター] 東 陽介 (帯広畜産大学)

[パネリスト] 吉川 泰弘 (北見工業大学)  
大湊 亮輔 (小樽商科大学)

館山 一孝 (北見工業大学)  
森山 知洋 (ベルシステム24)